

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(347)(HP 収載) バッハの無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ

1. 始めに

前報(346)に引き続き、STAGE+のカプソンのバッハの無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ集の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(346)に引き続きカプソンのバッハの無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ集の演奏を選びました。

J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ集

演奏：

ルノー・カプソン（ヴァイオリン）

曲名：

ヨハン・セバスティアン・バッハ

無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第1番 ト短調 BWV 1001

無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第1番 ロ短調 BWV 1002

無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第2番 イ短調 BWV 1003

無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番 ニ短調 BWV 1004

無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第3番 ハ長調 BWV 1005

無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第3番 ホ長調 BWV 1006



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッキング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッキングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。また、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力は ABS-7777 を適用しています。

最新の収録のようで、音質は良く、倍音も胴鳴りもリアルです。

カプソンが現在使用しているガルネリの音色を十分に活かした、しみじみと聴かせる演奏で、この曲の現代の演奏のお手本になるかもしれません。

この曲のアナログ盤や CD もありますので、聴き比べを考えます。

4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+に送り出し、PC と Brooklyn DAC+の間には USB アキュライザーに交換した結果、カプソンのガルネリの音色を十分に活かした演奏が聴けました。

以上